

多発!! 高齢ドライバーの自損事故

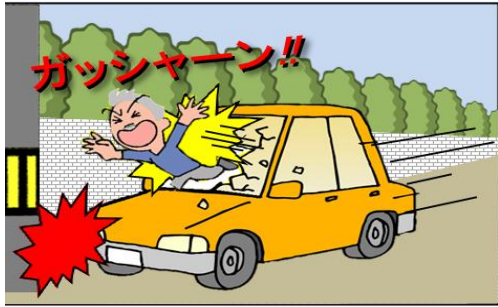
高齢者交通安全ニュース

発行所
岡山県警察
2020年
(令和2年)

10月号

「うっかり」「ぼんやり」が原因!?

岡山県下では、高齢ドライバーによる自損事故が多発している。本年9月末現在、自動車乗車中の死者24人のうち高齢ドライバーは13人、更にそのうち7人が運転中に工作物に衝突したり、河川に転落するなどの「自損事故」で命を落としている。移動手段として自動車・バイクが欠かせない岡山県。高齢者が自損事故を防ぐにはどうすればよいか。県警察本部企画課に取材した。



うっかり・ぼんやり、しかもシートベルトをしていなかったら…
※写真はイメージです。

まず「自損事故は『うっかり』や『ぼんやり』に起因するものが大半」と企画課担当者。さらに「ちよつとした不注意やハンドル・ブレーキの操作ミスが重大事故につながっている。いつもの慣れた道、乗り慣れた車でも油断は絶対禁物」と力を込める。それでは、こうした事故を防ぐにはどうしたらよいのか

緊張感と確認・慎重な操作を
前出の担当者は運転の心構えについて「危険と隣り合わせ、昨日の晩ご飯は何だったか忘れても、ハンドルを握るときには「緊張感」「慎重さ」

は絶対に忘れてはいけない」とユーモア混じりに説明する。一般に、人は加齢により視力が衰える、視野が狭くなる、反射神経が衰えるなどの変化が生じ、確認不足や判断・操作のミス、更には重大事故につながるおそれも。

「身体機能の変化を念頭に、緊張感を持って運転に集中し、確認の徹底とハンドルやアクセル、ブレーキの慎重な操作が必要」と担当者は力説。安全運転には、緊張感の保持と確認の徹底、慎重な操作が欠かせない。

シートベルトは「命綱」

シートベルトは万が一の交通事故のときに身体への被害を軽減する「命綱」。

「シートベルトで命拾いをしたケース、逆にシートベルトをしていなかったがために重大な被害を被ったケースもある」と企画課担当者。

「近所だから」「面倒だから」などとシートベルトをしなかったり、忘れていたりすることがないよう必ずシートベルトを着用しなければならない。

不安な方は
家族の方は
こちらへ
ご相談を

安全運転相談ダイヤル

シャープ ハルバレ

8080

岡山県警察

お問い合わせは最寄りの警察署へ

ドラレコ指導を受けられた方の声
★運転の癖がよく分かりました!
★運転の弱点を自覚できました!



経験豊かな指導員が親切丁寧に個別指導します。

文明の利器

高画質ドラレコで
弱点が分かる!



個別指導実施中

○気になる費用は…無料です

○対象者は…高齢ドライバーの方です

○ドラレコは…警察で貸し出します

○ドラレコの取り付けは…警察でします